

6万会員のための情報紙

県P情報

やまなし

No.127

2017(平成29)年
2月16日

Facebook



いいね! してください

●発行/山梨県PTA協議会 会長 進邦徹夫 〒400-0031 甲府市丸の内三丁目33-7 TEL.055-228-1342
●編集/山梨県PTA協議会 情報委員会 ●印刷/株式会社GRANT

題字 渡辺 慈仁(PTA元全県副会長)

第4回山梨県PTA大会開催

『子どもたちと向き合う時間を増やすために』～子どもと向き合うことの大切さ～

平成28年11月26日シット甲府プラザにて、山梨県PTA大会が開催されました。第4回を数える今年度の県P大会は、初の試みとして開会に先立ちマリンバの演奏が行われました(奏者は、植村朋世さん[平成26年度県P副会長植村武彦氏のお嬢様])。マリンバの音に心洗われながら、和やかな会場の雰囲気のままに県P大会の幕は上がります。



開会式が終わると、11月18日に東京で行われた式典において、文部科学大臣表彰を受賞した笛吹市立八代小学校PTAをはじめ、日本PTA会長表彰(団体・個人)、山梨県PTA会長表彰(団体・個人)、さらに広報誌コンクールの表彰が行われ、会場は温かい拍手に包まれました。

会場の良い雰囲気の中で、山梨大学大学院教育学研究科



教授藤田博康先生によるご講演、続くパネルディスカッションを行うことができました。今年度の大会テーマは、教育県民大行動のテーマを敷衍して、『子どもたちと向き合う時間を増やすために』

～子どもと向き合うことの大切さ～と設定しました。

藤田先生は、「子どもと向き合うため」には、「向き合いやすい人」になる必要があると指摘されます。そのためには「相手の気持ちに寄り添う」ことが大切であり、「話をしたいなって思う人」＝「自分の感情、気分、機嫌に自分で責任を持てる人」であることが望ましいとし、「子どもと向き合うこと」は「自分に向き合うこと」であるとして、良い家庭づくりへのヒントを提示してくださいました。

藤田先生の基調講演を受けて行われたパネルディスカッションでは、県P常任理事の佐野誠さん(甲府市)、同小笠原悠子さん(上野原市)、県P企画委員田邊和夫さん(富士吉田市)が、父親、母親、学校現場、それぞれのお立場から提案と討論を行いながら進められました。誰もが過ぎてきた多感な時期を、子どもたちが過ごしている中で、日ごろ不安に感じている子どもとの向き合い方について、藤田先生は事例に即したご助言をくださいました。「子どもたちと向き合う」ことが、まさに「自分に向き合う」ことであると実感し、今後「子どもたちと向き合う」ことを考える良いきっかけになったのではないかと思います。



お知らせ

地域指導者・単P会長予定者等研修会について(講演・分散会)

- 日 時 平成29年3月4日(土) 13時20分受付開始 13時40分開会
- 場 所 南アルプス市 桃源文化会館
- 講 師 山梨県立図書館館長 阿刀田 高氏
- 演 題 「話す、読む、書く、聞く」
- 分散会 郡市別の研修会

広報誌づくり講習会 ※コンクール審査結果発表

- 日 時 平成29年5月13日(土)
14時15分受付開始 14時30分開会
- 場 所 未定
- 講 師 山梨日日新聞社編集局部長
総合デスク 読者センター長 八巻信也氏

第39回 PTA広報誌作品募集

- ◎平成28年度発行の各PTA広報紙(新聞)を1部ずつ県PTA事務局へお送りください。
- 募集〆切 平成29年3月31日(金)

平成29年度 山梨県PTA協議会・親子安全会・扶助会 定期総会

- 日 時 平成29年6月3日(土)
12時30分受付開始 13時開会
- 場 所 南アルプス市 桃源文化会館

各郡市Pからの活動報告 (14地区中7地区)

甲府地区 石原初江(玉諸小P)

甲府市小中学校PTA連合会は38の小中学校で構成されています。28年度のスローガンは『くばる』です。「目をくばる・心をくばる・心を見えないものを大切に「家庭・学校・地域」がつかまって子どもたちの事を考え活動しています。今年度も昨年に引き続き8月に土曜学習会、12月には全体研修会を行いました。加藤秀規さんをお招きし「親が変われば 子どもは変わる」をテーマに講演をしていただきました。

南アルプス地区 三浦聖人(白根百田小P)

市連合PTAは市内22の小中学校PTAで構成されています。各単位PTAの連携を図り、市の教育文化の向上と子供たちの健全育成を目的に活動しています。これらの目的を達成する為に毎年学習会を開催しています。今年度は「子どもと携帯電話・スマートフォン」についてケータイと共に育つ子ども達の実情と私たち大人に課せられている子育ての責任について昨年10月14日にロジカルキッド代表の下田太一氏を招き学習しました。

都留地区 谷内健一(禾生第一小P)

都留市PTA連合会は、市内11の小中学校PTAで構成され都留市の子どもの健全育成のために家庭・学校・地域が一体となって活動しています。連合会の会員としての資質の向上・目的達成をめざして研修会・教育講演会・都留市研修会等へ積極的に参加しています。また、義務教育振興都留市民集では、教育条件整備・公費教育の充実をめざす運動を展開し、市教育委員会から多大な支援をいただいています。

大月地区 黒部高史(大月東中P)

市PTA連合会は学校統合も一段落し、市内小学校5校、中学校2校で組織されています。「21世紀を担う子供たちの健全育成を目指し教育のあり方を共に考えよう」をテーマに活動し、昨年も大月市PTA主催のもと第43回「明日の大月市の教育を語る会」を開催し、また天野文義先生から「大月のふるさと教育を考える会」の講演を頂き、有意義な会との感想が得られました。本年度も家庭、学校、地域が一体となり取り組んでいます。

甲州地区 手塚 武(井尻小P)

甲州市PTA連絡協議会は、「豊かな心をもつ子どもを育てよう」を統一テーマに、市内小中学校合わせて18の単位PTAが、学校と家庭と地域が協力し合い、子供達の豊かな心を育てる活動に取り組んでいます。近年、子供達を取り巻く環境は多様化しており、特に不登校やいじめなど心の問題、インターネットやスマートフォンのネット依存が深刻化する社会問題が課題として挙げられています。去る11月に行われた教育振興集では、携帯・スマホの安全利用「我が家のルール」を提言として、各PTAの皆様から、アウトメディアの推進、現在行っている取り組みやルールの見直し、これから取り組みを決めていくなどいろんなご意見を頂く事が出来ました。この問題は、今後も続いていきますので、市P連で統一的な取り組みが出来るよう、活動を推進していきます。

山梨地区 内藤 沸(岩手小P)

山梨市PTA連絡協議会は平成28年度より小中学校14校から統合により11校となりました。県内でも地区のPTA協議会としては小さいと思いますが小さい分連携のとれたすばらしい協議会です。会員相互の教養を高め教育振興を図る事を目的としています。市内、小中学校の全教室へのエアコン設置も完了し、今年度の義務振興会議では教育課程到達度確認検査も公費負担とする事とお約束もいただきました。また、平成30年9月から稼働予定の給食センターの建設準備も順調に進んでおり市内小中学校の教育環境は確実に整いつつあります。PTAに関わる人はもちろんですがその他の市内の人々も児童生徒の安全や教育に真剣に取り組んでいます。これからは教育環境を整えることに努力を惜しまず取り組んでいきます。

峡南地区 佐野博樹(身延小P)

峡南PTA協議会では、少子化、学校統合等の規模縮小が進む中単位の小中PTA関係諸機関・諸団体との連携を相互に深めながら活動しています。「アフリカ飢餓救済活動」や「富士川流域クリーン活動」などの歴史ある活動も継続されており、近年は県下全域からも協力を頂いております。また町ごとに開催される「教育を語る会」や「教育フォーラム」等子どもたちの健全な成長のために地域全体で協力しPTA活動を進めていきます。

第48回関東ブロックPTA研究大会茨城大会

平成28年
10月21日(金)~22日(土)

大会スローガン『歴史と未来が息づく常陸国から伝えたい願い 伝わる想い~愛する子どもたちへ贈るメッセージ~』

10月21日、22日の両日に第48回関東ブロックPTA研究大会茨城大会が開催され、山梨県PTA協議会からは進邦会長はじめ48名が参加しました。

1日目は8つの分科会が開催され、私の参加した第7分科会では「情報モラル」をテーマとして小中3校の事例発表があり、本年は山梨県から笛吹市立一宮西小学校PTAが「ネット社会の危機から子どもたちを守る保護者の役割」と題して発表を行いました。一宮西小は、テーマに沿った活動を多年度に渡り継続し、大変素晴らしい成果を今も出されています。

基調講演「未来」へつなぐメッセージ ~いま考える子供



たちの道徳心~ では尾花紀子氏のお話がありました。スマホを使う使わせない以前に、親として子どもに教えるべきこと、話し合うべきこと、及び身体への影響についても考えさせられました。

2日目の全大会では、テレビにも多く出演する西成活裕氏による「深い学び」と思考体力 という記念講演があり、効率性優先・短絡的思考な現代社会に、キーワード「深い学び」として、長期的視野・多段階思考の必要・重要性を述べていました。一見マイナスと見られることも長期で捉えれば殆どプラスとなるが、その為には最後まで考え抜くことができる、また「利他的行動」が取れるだけの体力(思考体力)が必要とのことです。

最近ではニュースでも「自分(自国)さえ良ければ」という言葉を目にしますが、やはりそのようなことが欠けているのでしょうか。

このように、2日間に渡りとても素晴らしい経験をさせていただきました。来年は群馬県で開催されます。

谷内健一(都留・禾生第一小P)

受賞おめでとうございます 優良団体・個人、広報紙コンクール表彰

授賞式：平成28年11月18日 於ホテルニューオータニ

文部科学大臣表彰(団体)

★笛吹市立八代小学校PTA

日本PTA会長表彰(団体、個人、広報紙コンクール)

★南アルプス市立若草南小学校PTA

★市川三郷町立市川中学校PTA

★望月 壮 (H27年度県PTA副会長)

★小林且宣 (H27年度県PTA副会長)

★磯村賢一 (H27年度県PTA副会長)

★渡邊 徹 (H27年度県PTA監事)

※そのほかの県P会長表彰については、ホームページをご覧ください。

(※敬称略)

特集

子どもたちとのふれあいを大切に! **パートII**

心豊かに、健やかに、そして主体性のある子どもへと導く、大人から子どもたちへのメッセージ。「励ましの言葉」「やる気を引き出す言葉」「自信につながる言葉」、子どもたちへ、一歩前に踏み出す勇気を奮い立たせる大人からの温かい心からのメッセージを寄せていただきました。

学校生活で

失敗し落ち込んで元気をなくしている子どもへ、励まし



(先生から)
失敗によって君が得たものが必ずあるあるはずだよ。次にはそれを生かせばいいんだよ。
強気!強気!
挑戦したからこそ、失敗ができた。進んで挑戦したこと、そのことがすばらしいんだよ。
明日はきっとよくなるよ。大丈夫だよ。

人としての基本を身につけることの大切さを、子どもたちへ



(保護者から)
「返事」「あいさつ」「整理整頓」この3つのうち一つでもできるとかっこいい大人になれるよ。

子どもたちへの優しい眼差しを言葉に、次のステップにつながるひと言



(先生、保護者から)
「て!! すごいじゃん!」
「いいじゃん、その調子!」
「ずっとずっと応援してるから」
「ついでる! ついでる!」

部活に日々励む生徒たちへ、エールのひと言



(先生から)
・勝つことが目標ではなく、勝ったその先に何が残るのが大切だ。
・全員が先ず目指すのは「強い選手」になることではなく、「いい選手」になることです。
(母親から)
部活動のない日も家で練習している姿を見ると、ついつい試合を見に行きたくなるよ。応援しているよ。

家庭生活で

失敗し落ち込んで元気をなくしている子どもへ、励まし



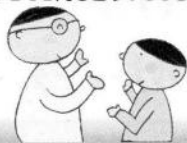
悩んでいる様子の子もへ

(両親から)
お父さん、お母さんは、どんな時だってあなたの味方だよ。

(父親から)
困っていることがあったら力になるから何でも言ってね。ひとりで解決できないことも相談してくればきっと何か見つけれられるよ。

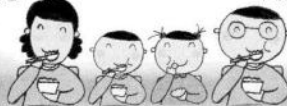
(父親から)
人生いろいろあるだ。前進あるのみ。でも、今日だけはゆっくりしろし。

日曜日、ゆったりとした時間の中で子どもと向き合うひととき



(父親から)
久しぶりに〇〇とゆっくり話ができてよかった。小学校もあと少し、今のまま頑張っていれば、立派な中学生になれるな。

家族団欒、和やかな食事のひととき



(父親から)
「家族そろっての食事が一番の調味料」

スポーツの練習に励む子どもへ



(母親から)
下級生の面倒を見てくれて助かって監督が言っていたよ。その気持ちがあれば、野球もうまくなるって。

三行詩へのご応募ありがとうございました!

今年度の県への応募状況は、応募総数1288点、そのうち単Pから県への推薦は193点でした。例年通り、常任委員による選考の結果、次の15点が県の優秀作品に選ばれ、日本PTAに推薦いたしました。その結果、一般の部において、韮崎小学校Pの谷内浩さんの作品が、厚生労働大臣賞に、また小学生の部において、高根北小学校4年の小川天維さんの作品が、全国の佳作に選ばれました。御協力、本当にありがとうございました。

小学生の部

- 母のだっこはやさしくて 父のだっこはゆうきをくれる だからわたしも弟にそんなだっこをしてあげたいな…… (全国佳作)高根北小4年 小川 天維
○うれしいね 小さなことでも ありがとう ……………大石小6年 渡辺 一成
○おこりたいたい時、かなしい時、さみしい時、いつも思い出す。「わらっていれば、ふくはくる」っていう、おばあちゃんのことば。 ……春日居小3年 黒部 えま
○おうえんされるとうれしいな。わたしのちょうせん 見ていてね。 ……………長坂小2年 木村 一穂
○ふりむけば いつでも心配しあえる 人がいる だって家族だもん ……………八田小6年 中島 光祐

中学生の部

- 素直になりたいけども 素直になれない 「ありがとう」のかわりに お手伝い ……………白州中1年 青鹿 瑞希
○ありがとう 5文字の言葉が言えなくて 今日反抗期線りかえす……………甲府東中2年 佐々木 楓
○中学生になり、だんだん身長が追いついてきて、ある日父より大きくなった そしたら父は「最後のだっこ」してくれた。
すこしはずかしかった、けれどうれしかった。 ……………勝沼中3年 上矢 菜大
○なんでかな? 「ありがとう」って こんなに短いのに なかなか言えない。 ……………韮崎西中3年 清水 ゆめ
○腹へった 親がいるから 言えること ……………城南中2年 佐々木悠斗

一般の部

- 思春期の子供の心はミステリー 私はいつもヒステリー それでも握手でピクトリー ……………(厚生労働大臣賞) 韮崎小 谷内 浩
○「うるせいなあ。」睨む視線を受け止めて 負けじと返す にっこり笑顔 ……………一宮西小 内藤ひさ美
○「ありがとう」そのひとことで がんばれる なんてすてきな魔法のことば ……………井尻小 遠藤 健一
○反抗期 学校来るなどと言われても 今しか見れない我が子見に行く……………長坂小 松永 雅子
○小さい頃は 手をかけた 少し大きくなって 目をかけた もっと成長してお金をかけた 親の思いは ずうっと同じ ……………井尻小 甘利志賀

親子安全会・扶助会だより

みんなで支える親子安全会・扶助会

山梨県PTA親子安全会 会長 石原初江(玉諸小P)
山梨県PTA扶助会

本年度も県PTA親子安全会・扶助会では、地域の宝である大切な子どもたちの健やかな成長を支えるために、子どもたちや会員みなさまの、不慮の事故に対する見舞金や厚生援助金の給付を主たる目的として、また健康安全教育の向上や福祉の増進に資する活動の取り組みに対しての助成も行ってまいりました。

見舞金等の給付にあたっては、審査運営委員会・認定委員会を年間9回行い、各郡市代表の校長先生をはじめとする16名の認定委員と医師1名、事務局2名で公平・公正で迅速な給付の徹底を図るよう努めています。

今後も親子安全会・扶助会では、子どもたちや会員の皆様が安心して楽しく活発な活動が行えるよう側面からサポートする活動を行ってまいります。会員の皆様には、本事業への変わらぬご理解を賜りますようお願い申し上げます。

下記に、見舞金等の給付並びに教育相談事業のお知らせを掲載いたしました。もしもの時の備えとして、今一度ご確認ください。詳細については、各学校の事務局にご相談ください。

親子安全会・扶助会の見舞金制度

PTA親子安全会審査運営委員長 佐藤文泰(道志中T)

山梨県PTA親子安全会は1975年に発足し、1986年度から親子・教職員共に全員加入制となりました。また、保険業法の適用を受け2008年度から見舞金支払い規定が現制度となり、併せてPTA扶助会も設立されました。

親子安全会は年間9回程度の審査運営委員会を開き、見舞金の公平な給付に努めています。申請される事案は毎回200件ほどあり、本委員会でその一つ一つの事案内容について審査基準をもとに給付の適否等を審査しています。具体的には、児童生徒については学校生活以外の全てのけがが対象となりますが、帰宅後の遊びの中での転倒や落下による傷害、自転車運転中の交通事故、スポーツの活動中のけがなど様々な状況に起因するけがに対して厳正に対応しています。

本委員会は、多くの児童生徒やPTA会員の相互扶助という親子安全会の目的を円滑に果たせまよう努めてまいります。今後も引き続きのご理解とご協力をお願いします。

親子安全会見舞金

もしも**けが**をしてしまったときには……親子安全会から**見舞金**が給付されます。

治療回数が**2回以上**のけがや死亡の場合、申請により見舞金が支払われます。

区分	対象	事由	見舞金額	
死亡見舞金	児童生徒	日本スポーツ振興センター適用外 ※学校生活中以外の死亡が対象	10万円	
	保護者・教職員	疾病・傷害を問わずいかなる場合も対象	10万円	
傷害見舞金 【整(接)骨院での治療は5割給付、上限50,000円】	児童生徒	日本スポーツ振興センター適用外	入院	1,500円/1日
			通院	1,000円/1回
	保護者	1 PTA活動中 2 児童生徒を対象とした社会的行事参加中 ※社会的行事とは公的機関が主共催の行事	入院	3,000円/1日
			通院	1,500円/1回
教職員	1 PTA活動中 2 児童生徒を対象とした社会的行事参加中 3 勤務中	入院	3,000円/1日	
		通院	1,500円/1回	
後遺障害見舞金	児童生徒 保護者・教職員	後遺障害見舞金支払区分によって査定された金額。 (ただし入・通院傷害見舞金と合算して10万円以内)		

扶助会援助金・見舞金

万一、保護者(会員)が**死亡**したとき……

扶助会から**厚生援助金**(一時金)が、

PTA活動中や社会的行事参加中の事故死亡には、**弔慰見舞金**が支払われます。

※詳しくは学校から配布される「平成29年度親子安全会・扶助会の手引き」をご覧ください。

区分	対象	事由	金額
厚生援助金	保護者	児童生徒の保護者(親権者)である会員死亡(死亡の理由は問わない。)	10万円
弔慰見舞金 (事故死亡の場合のみ)	児童生徒	PTA活動中による事故死亡(日本スポーツ振興センターの適用外)	100万円
		PTA活動中による事故死亡	300万円
	保護者・教職員	児童生徒を対象とした社会的行事参加中による事故死亡(社会的行事とは、公的機関の主催共催行事)	200万円
	教職員	勤務中による事故死亡	100万円

山梨県教育四者教育相談員連絡会

相談会場等案内 ■相談時間 午後1時30分~5時

※相談は無料です

地区	会場	住所	TEL	相談曜日	相談員
東山梨	東山梨教育会館	甲州市塩山千野3421	0553-33-2635	随時対応	依田 一秀
笛吹	笛吹市教育会館	笛吹市八代町南438-2	055-265-2117	随時対応	角田 修
峡南	峡南教育会館	南巨摩郡富士川町飯沢795-4	0556-22-1500	随時対応	熊谷 正
中巨摩	中巨摩教育会館	南アルプス市西野1294	055-282-5070	随時対応	渡邊 正義
北巨摩	北巨摩教育会館	韭崎市若宮2-6-26	0551-22-0540	随時対応	仲田 俊朗
南都留	南都留教育会館	富士吉田市下吉田886	0555-23-6151	随時対応	奥脇 義徳
北都留	北都留教育会館	大月市大月2-8-29	0554-22-1811	随時対応	近藤 周利
全県	山梨県教育会館	甲府市丸ノ内3-33-7	055-228-1342	随時対応	佐野 貴宣 依田 良文

編集後記

今回、第4回山梨県PTA大会、第48回PTA関東ブロック茨城大会の報告を中心に情報紙を作成しました。また、郡市PTAの情報、今後の活動予定も掲載しましたので、各PTA会員の皆様にも、この情報紙を活用して頂ければ幸いです。

山梨県PTA協議会情報紙127号の発行にあたり、関係者の皆様並びに情報委員の皆様にご協力頂き、感謝を申し上げます。

情報委員長 手塚 武